



む中、合併によって住みやすいまちになれば、たくさん子供も増え、二十五万、三十万都市へと発展していくと思います。

昨年末、姫路鳥取線も新直轄方式で整備が進むことになりましたが、これが完成すれば、関西圏との経済的なつながりも深まり交流人口も増えると思います。また、外から来られた人たちが住みたいと思っただけのまちになり定住人口も増えてほしいと思います。

市長 鳥取市という一つの魅力的で便利な地域を持ち、そして都市としてのいろんな機能をもち、それと同時に鳥取の豊かな自然の恵を生かして、都会の人たちが定住できるようにしていきたいと思えます。それから、子育て支援の意識は、少子化、高齢化が進む町村の方に意識が強いわけです。町村と鳥取市が一緒になって、そういう子育て支援などについて、強気に推進していき、次の時代を支える宝物である子供たちを地域の中で育てていく、あるいは増

やしていくことを、二十万都市鳥取の枠組みの中で取り組んでいきたいと思えます。鳥取市が魅力ある地域になると思っていますね。

審議会の設置で 地域の声を

岩成 一つお聞きしたいのですが、合併後、各町村に地域審議会を設置されるということですが、これはどのように選出をされていられるのか、そして、その活用の仕方をお聞かせいただきたいのです。

市長 地域審議会は、合併する町や村ごとに設置をし、例えば農業関係とか商業関係、医療や福祉関係、あるいは地域の自治会や学識経験者など、その地域を支え活動しているみなさんや公募の方などから、二十名以内の枠で予定しています。

最初の選出は、それぞれの町村で推薦などによりメンバーを選んでいたいただき、新市発足と同時に任命し発足しようと考えています。



従来、それぞれの市町村に議会というものがあつたわけですが、合併によって町村の議会はなくなり、この地域審議会によって、町村のいろんな各分野を代表する方々からなる会議ができますので、地域のいろんな課題や、町村民のみなさんの意向や意見を市長に対して述べると。また、市議会にも、お伝えする仕組みになっております。予算や条例、規則を決めるというような機能はありませんが、地域振興の課題や要望などを審議会の中で議論し、意見を述べる権限が与えられています。